

KVK 壁付サーモスタット式シャワー・混合栓 施工説明書

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

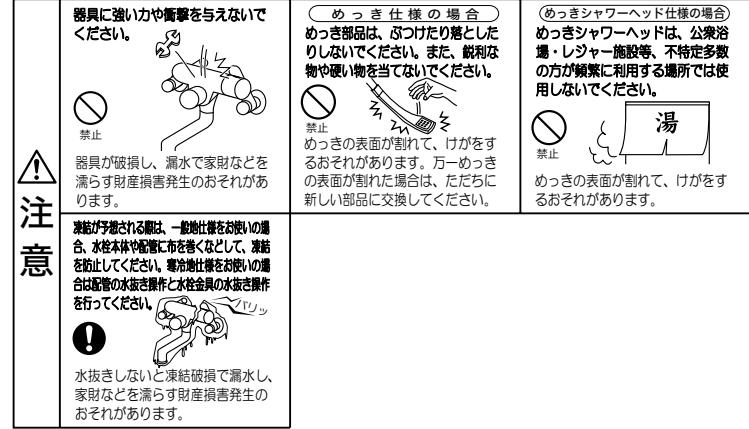
■この施工説明書はKF112G仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **△警告**は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **△注意**は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、**はい**
いけない「裏」の内容です

この絵表示は、**必ず実行して**
いただく強制の内容です



取り付け前に

- ① 使用水圧 $A = (\text{給湯機の最低作動水圧}) + (\text{配管圧力損失})$
- (1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温: 25°C, 給湯機温度調節: 高温 吐水温度: 42°C ハンドル全開)
【比例制御式】最低必要水圧: $A+50.0\text{KPa}$ (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ
【給湯・給水圧力】最低必要水圧: $A+50.0\text{KPa}$ (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 吐水切換ハンドル(又は吐止水ハンドル)は全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くなるか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機の給湯温度は、必要とする吐水温度より10°C以上高くしてください。なお、安全のため60°C給湯をおすすめします。
- ⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は、改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

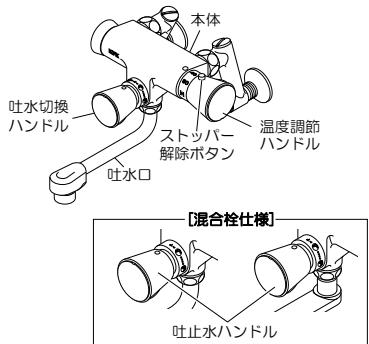
1ページ

2ページ

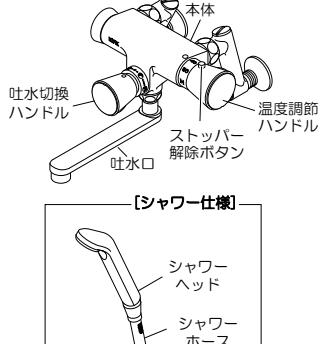
取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図

取り付け完成図と各部の名称

KF112G仕様

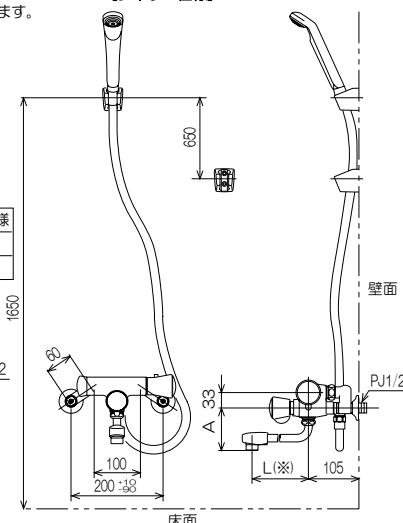


KF112GB仕様

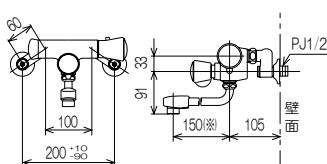


寸法図 下記寸法は仕様によって異なる場合があります。
※吐水口長さは仕様によって異なります。

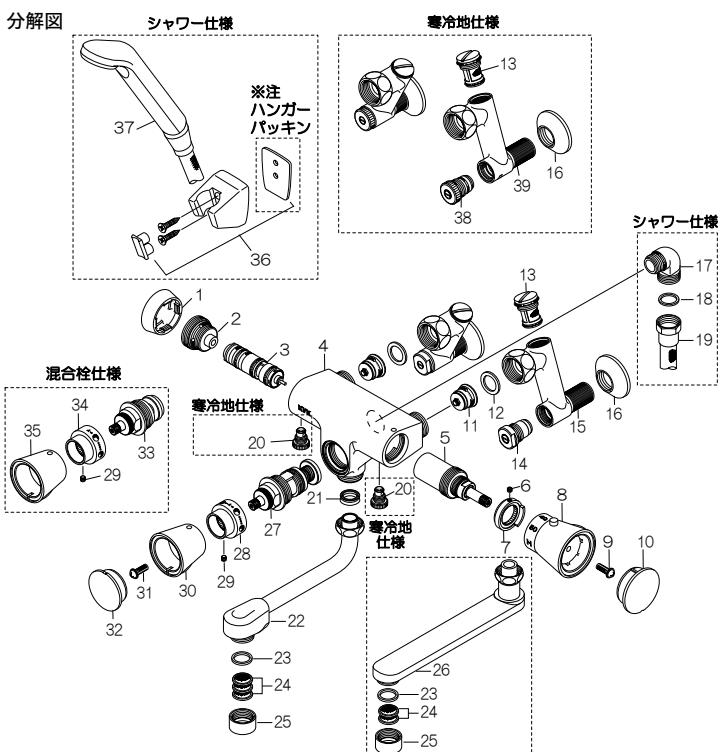
[シャワー仕様] イラストはKF112G



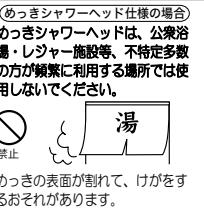
[混合栓仕様] イラストはKM112G



部品の形状は仕様によって異なる場合があります。



1 保護キャップ	13 パッキン	17 パッキン	23 パッキン	25 整流器キャップ	26 叶水口	27 叶水付切換弁ユニット	28 切換カラー	29 ビス	30 叶水切换ハンドル	31 ビス	32 キャップ	33 止水弁ユニット
2 閉鎖キャップ	14 流量調節止水弁	15 ソケット	20 送り座	21 シャワーエルボ	22 パッキン	23 パッキン	24 パッキン	25 整流器キャップ	26 叶水口	27 叶水付切換弁ユニット	28 切換カラー	29 ビス
3 サーモスタットカートリッジ	4 本体	5 温調ポンネット	6 ピス	7 スッパーリング	8 温度調節ハンドル	9 ビス	10 キャップ	11 逆止弁	12 パッキン	13 ストレーナ	14 流量調節止水弁	15 ソケット
11 逆止弁	12 パッキン	13 ストレーナ	14 流量調節止水弁	15 ソケット	16 送り座	17 シャワーエルボ	18 パッキン	19 シャワーホース	20 水抜き栓	21 Xパッキン	22 叶水口	23 パッキン
10 キャップ	11 逆止弁	12 パッキン	13 ストレーナ	14 流量調節止水弁	15 ソケット	16 送り座	17 シャワーエルボ	18 パッキン	19 シャワーホース	20 水抜き栓	21 Xパッキン	22 叶水口



3ページ

4ページ

取り付け手順

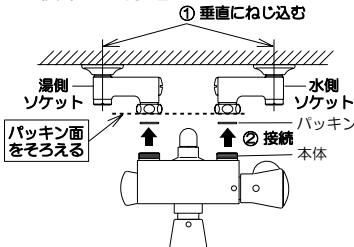
1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

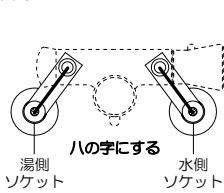
2 ソケットと本体の取り付け

- ソケットのネジ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
- 【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調節してください。)
- ・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
- ソケットと本体を接続します。
- 【△注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
しっかりと締め付けられないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉上から見た図

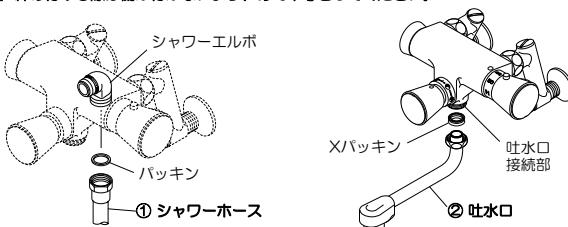


〈図2〉前から見た図



3 シャワーホースと吐水口の接続

- シャワーホースのみシャワーホースをシャワーエルボに接続します。
- 吐水口を吐水口接続部に接続します。
- 締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
- 【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。



4 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見易い位置に貼り付けてください。

5 ページ

取り付け後の点検と清掃2

サーモスタッフカートリッジの清掃方法

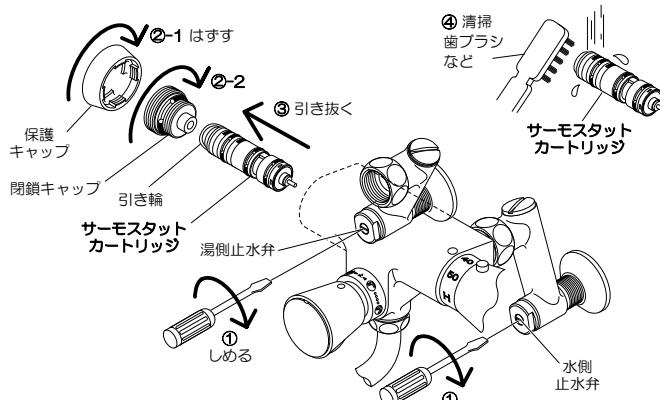
サーモスタッフカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△警告】サーモスタッフカートリッジの清掃は、止水弁又は元栓を必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタッフカートリッジをいきなりはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

- 湯水両側の止水弁[2ヵ所]又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 保護キャップ、閉鎖キャップを取りはずします。
- サーモスタッフカートリッジの引き輪を起こし、引っ掛けで抜き取ります。
- サーモスタッフカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。



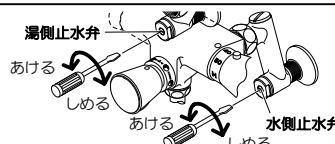
温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルをはじめ直してください。

→ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



取り付け後の点検と清掃1

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して漏水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

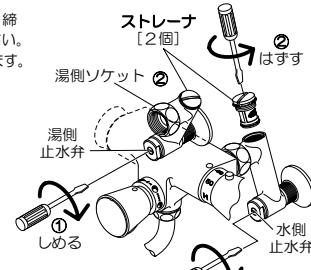
ストレーナ清掃のお願い

ソケットのストレーナ清掃

ソケットのストレーナにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

【△警告】・ストレーナの清掃は、止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。
・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- 湯水の止水弁[2ヵ所]又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 湯側・水側のストレーナ[2個]を取りはずします。
- ゴミ・水アフタ等を洗い流します。



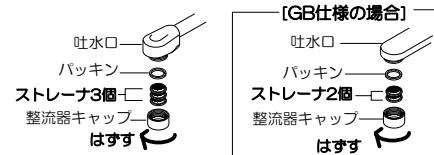
清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。

シャワーホースの場合、ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。
混合栓仕様の場合、ストレーナを締め込む時、吐止水ハンドルを吐水側にしてください。

吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ストレーナをブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

6 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	取扱説明書4ページ 「吐水切換方法」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか ストレーナにゴミ等がつまっていますか	止水弁を開ける ストレーナを清掃する	アページ 「流量の調節方法」 6ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
シャワーが弱い	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか ストレーナは凍っていないですか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	アページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	アページ 「流量の調節方法」
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか 給湯機から十分な湯がきていますか ストレーナにゴミ等がつまっていますか	止水弁を開ける 給湯機の設定温度・作動を確認する ストレーナを清掃する	アページ 「流量の調節方法」 — 6ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	アページ 「ストレーナ清掃のお願い」
シャワーの吐水状態が不安定(シャワーセット)	熱源の温度を下げ(約60°C)、水側止水弁をしほすことにより、改善される場合があります	—	—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取扱店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

7 ページ

8 ページ